

OS と Starter Pack の対応 (Express5800/R110j-1M 向け)

※注) 本書の適用範囲は Express5800/R110j-1M です。
本モデル名以外の装置は適用対象外です。

○ Express5800/R110j-1M

✕ 左記以外のモデル

対象モデル名	対象型番
R110j-1M	N8100-2840Y/2841Y

OS と Starter Pack について

Express5800/R110j-1M (以下「サーバ」)は、Starter Pack のバージョンによってサポート可能な OS が変わります。サーバの安定稼働のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。

OS インストール準備および適用方法

- 「OS と説明書の対応表」を参照し、インストールする OS の説明書を準備します。
- 「OS と Starter Pack 対応表」を参照し、インストールする OS に対応した Starter Pack のバージョンを確認します。
- 「サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」を参照し、サーバに適用されている Starter Pack のバージョンを確認します。適用済みの Starter Pack がインストールする OS に適合している場合は、6.に進みます。
- OS インストール前に、「Starter Pack の適用方法」を参照し、2.で確認したバージョンの Starter Pack を適用します。
- 再び「サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法」を参照し、適用した Starter Pack のバージョンが正しいか確認します。
- 使用する OS のインストレーションガイドを参照し、OS をインストールします。
Starter Pack のダウンロードサイトにインストレーションガイドが掲載されているときは、そちらを優先します。
- Windows Server または RHEL を使用する場合、OS のインストレーションガイドを参照し、2.で確認した Starter Pack のダウンロードサイトに記載の手順に従い、OS 上で Starter Pack を適用します(VMware の場合、適用は不要です)。

OS と Starter Pack 対応表

Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。
下記の表を参照し、対象 OS に対応した Starter Pack を適用してください。

対応 OS	Starter Pack バージョン	
	S8.10-007.01 (2020/02/10 公開)	S8.10-007.02 (2020/06/08 公開)
Windows Server	2016	✓
	2019	✓
Red Hat Enterprise Linux	7.6	✓
	7.7※1	✓
	8.1	✓
VMware ESXi	6.5 update 2	✓
	6.5 update 3	✓
	6.7 update 2	✓
	6.7 update 3	✓
	7.0	✓

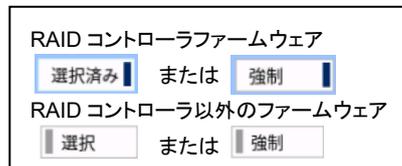
公開日は、各 Starter Pack バージョンの最新版を Web 上に公開した日付です。

※1 RHEL7.7 を利用する場合、はじめに RHEL7.6 をインストールし、その後、RHEL のアップグレードを実施する必要があります。

補足事項

- サーバ(N 型番)および Starter Pack 製品(UL 型番)は、ご注文時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER、SPS ファームウェアが適用、収録され出荷されます。古いバージョンの Starter Pack を適用する場合は、NEC Web サイトよりダウンロードしてください。サーバの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます(一部ダウンロード不可のものがあります)。ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」を選択)

- Starter Pack バージョンの末尾 2 桁の xx は、任意の数字を表します。
例: S8.10-007.xx であれば、S8.10-007.01, S8.10-007.02 などが該当します。
Starter Pack は、S8.10-007.xx, S8.10-008.xx(未公開)の順にリリースされています。安定稼働のため、最新版を使用することを推奨します。(2020 年 8 月 28 日現在 S8.10-007.02 が最新です)
- VMware ESXi(vSAN 含む)を利用する場合で RAID コントローラのファームウェアが 2.65 未満の場合は、**Starter Pack バージョン S8.10-007.02** を使用して事前に 2.65 にアップデートしてください。
 1. Starter Pack のダウンロードサイトに記載されている「アップデート手順」の中の【オフラインからのファームウェアアップデート】に従い手順を進めます。
 2. 「Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順」の(10)「手順2 レビュー」まで進めたら、右図を参考に RAID コントローラ以外のファームウェアをすべて適用しない設定に変更して「展開」をクリックします。
 3. アップデート完了後に「Reboot」を選択してシステムを再起動してください。



Starter Pack のバージョン確認とアップグレード方法

サーバに適用されている Starter Pack バージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER および iLO5 のファームウェアバージョンにより、サーバ出荷時に適用された Starter Pack のバージョンを確認できません。

EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン	iLO5 ファームウェアバージョン	対応する Starter Pack のバージョン
3.31.63 (E8.10-006.02)	(2.10)	
3.40.192 (E8.10-007.01)	2.11	S8.10-007.01
3.40.192(E8.10-007.01)	2.14	
3.45.6(E8.10-007.02)	2.18	S8.10-007.02

EXPRESSBUILDER、iLO5 ファームウェアバージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER、iLO5 のファームウェアバージョンを確認する方法は下記 2 通りあります。どちらか一方を実施します。

- **サーバのローカルコンソールで確認する方法**
 1. サーバの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
 2. サーバにディスプレイとキーボードを接続します。
 3. サーバの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
 4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Utilities → System Information → Firmware Information」を選択します。
 5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 - 画面の「BMC Firmware Version」→ iLO5 のファームウェアバージョン
 6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。
- **iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法**
 1. iLO5 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
 2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
 3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
 4. iLO Web インターフェース画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→ EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 - 画面の「iLO5 Firmware」→ iLO5 のファームウェアバージョン
 5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェース画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェースの操作方法は、iLO5 ユーザーズガイドを参照します。

Starter Pack の適用方法

1. 以下の Starter Pack を入手します。ISO ファイルを DVD-R に書き込みます。「[ソフトウェアの入手先](#)」参照。
2020 年 8 月 28 日時点で最新の Starter Pack: S8.10-007.02
2. 手順 1 で参照した Web サイトに記載の「アップデート手順」に従ってファームウェアをアップデートします。ここではオフラインの手順のみ実施します。
3. ファームウェアのアップデートは終了です。「[OS インストール準備および適用方法](#)」に戻り、手順 5 以降を実施します。

OS と説明書の対応表

対象 OS	説明書						
	本書	インストール・シミュレーションガイド (Linux 編)	インストール・シミュレーションガイド (Linux 編)	インストール・シミュレーションガイド (Linux 編 RHEL8.1 版)	インストール・シミュレーションガイド (VMware ESXi 編)	インストール・シミュレーションガイド (VMware ESXi 7.0 編)	Starter Pack のアップデート手順
Windows Server	2016	✓	✓				✓
	2019	✓	✓				✓
Red Hat Enterprise Linux	7.6	✓		✓			✓
	7.7※1	✓		✓			✓
	8.1	✓			✓		✓
VMware ESXi	6.5 update 2	✓				✓	✓
	6.5 update 3	✓				✓	✓
	6.7 update 2	✓				✓	✓
	6.7 update 3	✓				✓	✓
	7.0	✓					✓

※1 RHEL7.7 を利用する場合、はじめに RHEL7.6 をインストールし、その後、RHEL のアップグレードを実施する必要があります。

説明書は下記より入手してください。

- インストール・シミュレーションガイド
ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」 → 「型番・モデル名から探す」
→ 「製品マニュアル」 → 「ユーザーズガイド」)
- Starter Pack のアップデート手順
ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」 → 「型番・モデル名から探す」
→ Starter Pack で検索しダウンロードページを参照)

Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧

Starter Pack の各バージョンは、下記表の各コンポーネントのバージョンに対応します。下記以外のバージョン構成は非サポートとなりますので、サポート構成のバージョンとなるよう各コンポーネントの適切なバージョンを適用してください。安定動作のため、Starter Pack に対応する各コンポーネントの最新バージョンを適用することを推奨します。また、各ファームウェア/ソフトウェアについては、「Express5800 シリーズ /iStorage NS シリーズ ファームウェアと関連モジュールの version 管理について」を参照してください。

対応するコンポーネント	Starter Pack バージョン	
	S8.10-007.01 (2020/02/26 公開)	S8.10-007.02 (2020/06/08 公開)
◎System ROM (BIOS)	2.32 ◎2.22	2.34 ◎2.32 (2.22)
◎iLO5 (BMC) FW	2.14 2.11※3 ◎2.10※3	2.18 ◎2.14
◎iLO5 日本語パック	◎2.10	◎2.10
◎Innovation Engine (IE) FW	0.2.2.0※2 ◎0.2.1.2	0.2.2.0※2 ◎0.2.1.2
◎Server Platform Services (SPS) FW	04.01.04.339※2 ◎04.01.04.296	◎04.01.04.339
EXPRESSBUILDER	E8.10-007.01 FW Ver: 3.40.192 E8.10-006.02 FW Ver:3.31.63	E8.10-007.02 FW Ver:3.45.6 ※4 E8.10-007.01 FW Ver: 3.40.192
Power Management Controller Firmware	◎1.0.7 1.0.4	1.0.7 1.0.4
◎RAID 通報サービス (Windows 用)	◎3682	◎3682
◎RAID 通報サービス (RHEL 用)	◎3682	◎3682:RHEL7 ◎3722:RHEL8.1
◎Agentless Management Service (Windows 用)	◎2.10.0.0	◎2.12.0.0
◎Agentless Management Service (RHEL 用)	◎2.1.0	◎2.1.0
Agentless Management Service (VMware 用)	yyy.11.5.0	◇700.3.5.0 yyy.11.5.0
◎iLO Channel Interface Driver (Windows 用)	◎4.6.0.0	◎4.6.0.0
iLO Channel Interface Driver (RHEL 用)	サポートする Linux Kernel に組込	
iLO Channel Interface Driver (VMware 用)	650.10.4.0 670.10.2.0	◇700.10.1.0 650.10.4.0 670.10.2.0
WBEM Provider (VMware 用)	650.03.16.00.4 670.03.16.00.3	◇700.03.16.00.12 650.03.16.00.4 670.03.16.00.3
◎Smart Storage Administrator (Windows,RHEL 用)	◎4.15.6.0	◎4.17.6.0
Smart Storage Administrator (VMware 用) ※	3.40.3.0※1	◇4.18.1.0(700 用) 4.17.6.0(650,670 用)
ESMPRO/ServerManager (監視サーバ用)	6.47 (6.42)	6.47 (6.42)
◎ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	◎2.2	◎2.2
◎ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用)	◎2.1.3-0	◎2.1.3-0

◎二重丸: Starter Pack に同梱されるコンポーネント。無印は、Web サイト上に掲載。
◇ひし形: VMware ESXi インストールメディア(NEC カスタムイメージ)に同梱されるコンポーネント。
(括弧で囲まれたバージョン): 旧バージョン。括弧の付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。
VMware 向けコンポーネントの yyy: ESXi のバージョン (例: 6.7 → 670, 6.5 → 650)

※1 Smart Storage Administrator (VMware 用)は、下記 URL からダウンロードしてお使いください。

Smart Storage Administrator (VMware 用)	3.40.3.0	ESXi6.5 用 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108257 ESXi6.7 用 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108258
---	----------	--

※2 Innovation Engine(IE) FW/ Server Platform Services(SPS) FW は、以下よりダウンロードしてご利用ください。

Innovation Engine(IE) FW	0.2.2.0	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109044
Server Platform Service(SPS) FW	4.1.4.339	

- ※3 ilo5(BMC) FW 2.10 と 2.11 は機能差分ありません。
- ※4 2020 年 9 月中旬サポート予定です。

補足

- 関連するファームウェア、ソフトウェアの組み合わせに注意が必要です。別途リリースされている「Express5800 シリーズ/iStorage NS シリーズ ファームウェアと関連モジュールの version 管理について」を参照して対応するファームウェア、ソフトウェアを適用してください。依存関係を守れていない場合は、Starter Pack やリリースされたファームウェアやソフトウェアを用いて、依存関係を守った構成にしてください。
- Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧は、本注意事項の発行日時点の最新情報です。システムの安定動作および新機能の追加のため、新バージョンが予告なく公開、追加される場合があります。

ソフトウェアの入手先

ソフトウェア名	バージョン	入手先
Starter Pack	S8.10-007.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108842
	S8.10-007.02	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109077
EXPRESSBUILDER	E8.10-007.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108843
	E8.10-007.02	(2020年9月中旬公開予定)
System ROM (BIOS)	2.22	(Starter Pack S8.10-007.01 に同梱)
	2.32	(Starter Pack S8.10-007.02 に同梱)
	2.34	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109160
iLO5 (BMC) FW	※2.11(2.10)	※ (Starter Pack S8.10-007.01 に同梱)
	2.14	(Starter Pack S8.10-007.02 に同梱)
	2.18	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109161
iLO5 日本語パック	2.10	(Starter Pack S8.10-007.01/02 に同梱)
Server Platform Services (SPS), Innovation Engine (IE)	04.01.04.339 0.2.2.0	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109044
Smart Storage Administrator (VMware 用) WBEM Provider (VMware 用)	3.40.3.0	ESXi6.5 用 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108257
	650.03.15.00.4	ESXi6.7 用 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108258
	670.03.15.00.3	
	4.17.6.0	ESXi6.5 用 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109105
	650.03.16.00.4	ESXi6.7 用 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010109106
	670.03.16.00.3	
RAID コントローラファームウェア	2.65	(Starter Pack S8.10-007.02 に同梱)

※Starter Pack S8.10-007.01 には iLO5(BMC)FW2.10 が収録されていますが、iLO5(BMC)FW2.11 と機能的に差ありません。

変更履歴

版数	改版日	改版内容
6	2020年8月28日	ファームウェア情報更新
5	2020年7月27日	OS インストール準備記載変更、RHEL8.1 対応,ESXi7.0 対応記載
4	2020年6月8日	Starter Pack S8.10-007.02 対応
3	2020年5月15日	文章修正(ファームウェア依存関係)
2	2020年3月24日	Starter Pack S8.10-007.01 情報追加
1	2020年2月28日	初版